



ウスギヨウラク (薄黄瓔珞) <ツツジ科・ヨウラクツツジ属>

山地の林縁や林内、岩場に自生する樹高 1~2 丈の落葉低木。葉は互生し枝先に集まって付く。中部地方~中国地方、四国に分布。葉は長さ 3~6 釐の楕円形で最大幅は中央。葉裏はやや白色を帯び葉裏と縁に毛が散生する。花は 4~6 月。枝先に 1.2~1.8 釐の薄黄色の釣鐘型の花が 1~8 個集まって付き、花の先は浅く 5 裂する。花冠はわずかに紅紫色を帯び花柄や萼の縁には線毛がある。和名の由来は、形が仏像の飾りなどに使う「瓔珞」に似ており薄い黄色を帯びていることから。別名ツリガネツツジ。・・・▼思いがけず出合ったウスギヨウラク。楚々として何と可愛らしい素敵な花と、心が躍った。▼今、命漲る季節の到来。山々の樹々は葉を広げ花を咲かせ、新芽の様々な色、やわらかな若葉はまさに春ならではの光景。日々変わるその移ろいは見飽きることがない。▼葉が開くと虫が来る。虫が来ると鳥が来る。賑わう自然界。命の輝きはほんのつかの間、出かけよう、野や山へ。

~2022 年 4 月湯来町~